

## 日本生殖看護学会ニュースレター

Japanese Society of Fertility Nursing (JSFN)

No.30

## 目次

第9回日本生殖看護学会学術集会を終えて	1
学術集会に参加して	2
平成23年日本生殖看護学会総会報告	3
平成23年度事業計画及び予算案	4
これから行われる学会・研修会等のお知らせ(2012年1月～3月)	5
第7回生殖看護実践セミナー報告	5
勉強会のお知らせ(関東地区、関西地区、九州地区)	6
各地区で関係する勉強会の支援	7
理事会報告	7
掲示板	7
もし不妊看護の現場で行き詰ったら	8
事務局からのお知らせ	8
編集後記	8



## 第9回日本生殖看護学会学術集会を終えて

学術集会長 北里大学看護学部 上澤 悦子

第9回日本生殖看護学会学術集会は「生殖看護の拡大と発展」をテーマとして妊孕性維持の支援に焦点を当てたプログラム構成といたしました。それは今や生殖看護の背景は、生殖年齢の高齢化、がん治療、性染色体異常、性分化異常など、社会的要因や後天的・先天的要因による妊孕性低下を要因とした不妊による現象を対象とする第二段階に入ってきたと実感していたためです。ヒトのあらゆるステージにおける妊孕性温存・維持の支援に果たす生殖看護の役割が大変重要な時期に入ってきたといえます。

そこで、本学術集会長講演では「ヒトの妊孕性と生殖看護」をテーマに、最近のAMH: Anti-Mullerian Hormoneに関する研究結果から生殖看護の役割を考察しました。また、塩田恭子先生からは、「がん治療者の妊孕性温存に関する自己選択」をテーマに、看護が果たすべき役割をご提示いただきました。20演題が発表された一般口演および示説は、妊孕性温存への看護に関するもの、教育と治療後妊娠のケアに関するものなど興味深い内容であり、活発な討議が重ねられました。共催のメルクセローノ社からのランチョンセミナーでは「生殖医療における在宅自己注射支援～QOL向上のために～」の具体的な提案があり、取り入れたいという意見も多く認められました。さらに、シンポジウムでは、生殖看護、遺伝看護、がん看護、家族看護の第一人者のシンポジストによる「リプロダクティブヘルスを目指した専門看護領域とのコラボレーション」をテーマに、各専門領域からの生殖看護への期待、具体的な連携への提言などから、今後の生殖看護をどのように拡大していくのかについて数多くの示唆を得ることができました。

参加者数は263名(会員128名、非会員110名、学生25名)で、300名収容のメイン会場が満員となる盛会のうち終了できました。これらは、都心であるアクセスの良さ、がん看護領域、小児領域、急性期領域など他領域の参加者が多かったことも影響したと思われます。

学術集会の評価は、「講演、一般口演ともにレベルが高く、遠方からでも参加する意味があった」「妊孕性の支援というのは単科だけの問題でないチーム医療が重要であることがよく理解できた」「4つの看護のコラボレーションがとてもよかった」「妊孕性維持支援というテーマにそって良く構成されていた」など概ね良い評価を頂きましたが、一方、「シンポジウムの内容が難しく消化に時間がかかる」「デスカッションの時間がもっとほしい」「ポスターを見に行く時間がなかった」など、スケジュールがタイトであったことや終了時間が延長したことに関する課題が示されました。

学術集会当日は、東日本大震災からちょうど6カ月目にあたったこともあり、災害時の対策について十分に検討を重ねての開催でありましたが、無事に終了できたことにまずは安堵しております。

最後になりましたが、企画から開催まで長期に支えていただいた11名の企画委員の方々、当日の開催にご尽力いただいた12名の実行委員の方々と学生の皆様、また、丁寧に査読を担当いただきました会員の皆様に心より深く感謝申し上げます。

さらに、ご講演いただいた講師の方々、興味深い内容の一般口演・示説を提示いただいた演者の皆様、特に遠方からまた近場からにしても早朝から学術集会に参加いただいた皆様に、重ねて御礼申し上げ、お礼のご挨拶とさせていただきます。



参加者からの声

## 「第9回日本生殖看護学会学術集会に参加して」

☑木場公園クリニック 菅野 伸俊

平成23年9月11日に北里大学白金キャンパスで行われた「第9回日本生殖看護学会学術集会」に参加しました。今回は「生殖看護の発展を目指して～妊孕性維持の支援～」というテーマで上澤悦子先生の会長講演「ヒトの妊孕性と生殖看護」に始まり、遺伝看護・がん看護・家族看護の各専門看護領域からの講師を迎えてのシンポジウムでまとめられていました。不妊症看護認定看護師として不妊専門クリニックで勤務する私は、本学術集会の一日を通し「がん治療」を受ける患者の「妊孕性」について改めて考えることができ、他分野との協働の必要性を強く感じました。

一般口演およびポスター（示説）では「がん治療と妊孕性維持」「自己選択への支援」など自己の生殖能力をどのように支援するかに焦点を当てた演題が多く発表されました。私自身も一般演題「精巣内精子回収法後の患者の選択」を口演する機会を得て、多くの質問を頂くことができました。その他には「治療後妊婦への看護」「治療体験の意味づけ」「基礎教育と生殖看護の役割」などをテーマとした興味深い内容の発表も数多く、またメイン会場とポスター会場の移動がスムーズであったこともあり、会場は常に賑やかな雰囲気でした。

私は学会に参加する意義として、同じ志を抱いた仲間との意見交換に重点を置いているため、今回の学会での一日は非常に貴重な時間となりました。今回の学びを糧に、今後も生殖看護の発展に貢献していきたいと考えています。

☑京野アートクリニック 坂本 絵里

第9回日本生殖看護学会学術集会に参加させていただきました。2010年秋より、北里大学看護学部上澤悦子先生と「不妊治療中の女性のストレスと対処」の研究課題のもと研究を進め、2011年初旬より調査項目を検討しておりました。

そんな矢先、2011年3月11日に東日本大震災が発生し、初めての経験を多くしました。震災の影響は、皆様もニュースや新聞で既知の通りです。私も不妊クリニックの看護師として治療中の方々にできることを模索し、できうるかぎりの対応したつもりではありましたが、課題は山積みと感じていました。そのような中、上澤先生より今回の震災時のストレスも含めた調査としてはどうかとご助言をいただき、調査項目を追加し調査・分析した結果を発表することになりました。データの分析からパワーポイントの作成、発表原稿の作成をすることで、私自身震災時の看護活動について改めて見直すきっかけとなりました。発表時には緊張し、質疑応答に十分に回答することができない部分もありましたが、今回このような発表の機会を与えて下さいましたことに感謝申し上げ、さらに真剣に聴いていただいた学会参加者の方々に御礼を申し上げます。

## 平成23年 日本生殖看護学会 総会報告

日時：平成23年9月11日（日）13：00～13：25  
会場：北里大学 白金キャンパス 1501教室  
出席：会場出席者84名、委任状134通  
（本学会則第18条により総会成立）

総合司会：清水理事  
議長：上澤理事（第9回学術集会長）

### <報告事項>

#### 1. 理事会報告（森理事長）

平成22年度に開催された8回の理事会（うち3回は書面理事会）について報告。

#### 2. 総務（事務局）報告（清水理事）

平成23年8月17日現在、会員数は310名。  
主な活動は会員管理、関連団体・機関への対応、学会ホームページの運営と管理。

#### 3. 委員会事業報告

（平成22年9月1日～平成23年8月31日）

##### 1) 常任委員会

実践開発委員会（橋村理事）：ホームページ上での学会員における看護上の相談対応、相談活動のPR、不妊症看護認定看護師の認定後の継続教育を支援していくための活動、東日本大震災における被災地域への支援を実施。

教育推進委員会（阿部理事）：関西、九州、東海、関東の4地区の勉強会のサポート、生殖看護実践セミナーの企画・準備、勉強会等助成要項の作成。

広報委員会（野澤理事）：ニュースレター27～29号の企画・編集および発行。JSFNホームページへのニュースレターの掲載。学会リーフレットの配布によるPR活動を実施。

編集委員会（村本副理事長）：学会誌第8巻1号を発行するための編集活動、専任査読委員の依頼を実施。

将来検討委員会（長岡理事）：国内外の情報収集と発信、研究助成の運営・管理を実施。

##### 2) 特別委員会

看保連対応ワーキンググループ（清水理事）：看護系学会等社会保険連合（看保連）の総会、看護技術評価委員会、勉強会に出席し動向を把握。今後、診療報酬点数化の提案やロビー活動等を検討する方針。

在宅自己注射マニュアル作成ワーキンググループ（長岡理事）：実際に在宅自己注射指導を実施している看護師の意見を集約するため、情報収集および聞き取り調査を行い、調査用紙案を作成。

#### 4. 平成23年度研究助成審査結果（長岡理事）

平成23年度研究助成審査会（平成23年8月18日：書面開催）の選考結果：申請件数1件、採択件数1件。審査委員：阿部正子氏、清水清美氏、

野澤美江子氏。

研究代表者：高野みち子氏

採択テーマ：男性不妊症患者の不妊の体験世界  
第8回理事会（平成23年8月19日開催）にて選考結果を承認。

#### 5. 日本看護系学会協議会との連携（野澤理事）

平成23年度日本看護系学会協議会総会に出席。「特定看護師（仮称）に対する提言」について経過を見守るとともに、「特定看護師（仮称）の考え方（試案）」に対する意見交換を行った。

#### 6. 東日本大震災に関連した支援活動（森理事長）

理事有志による被災者のためのメール相談の開始（平成23年4月上旬～）、会員の不妊症看護認定看護師20名の輪番制による電話相談（4月29日～8月31日）、本学会の被災者支援活動について、日本看護系学会協議会および日本生殖医学会に情報提供を行った。

### <審議事項>

#### 1. 平成22年度収支決算ならびに会計監査

（遊佐幹事、遠藤監事）

遊佐幹事より、平成22年度の一般会計および特別会計の収支決算を報告。

遠藤監事より、平成22年度の収支決算に関して、平成23年9月10日に決算書面およびそれに付随する証票に照らして監査を執行した結果、適当であった旨を報告。

\*以上の報告に対する質問等なし。会計からの決算報告ならびに会計監査に関し、会場の拍手により承認。

#### 2. 平成23年度事業計画案（森理事長）

平成23年度の常任委員会および特別委員会の事業計画案を報告（本号 p.4に掲載）。

#### 3. 平成23年度収支予算案（遊佐幹事、森理事長）

遊佐幹事より、平成23年度収支予算案（本号 p. 4に掲載）を報告。森理事長より、次年度の年会費値上げについて理事会で検討中である旨を報告。

\*以上の報告に対する質問等なし。平成23年度の事業計画案および収支予算案は、会場の拍手により承認。

#### 4. 第10回学術集会について（清水理事）

第10回学術集会は、平成24年9月9日（日）国際医療福祉大学小田原キャンパスにて開催予定であることが報告された。

## 平成23年度事業計画

### 1. 常任委員会

- ◆**総務（事務局）**：個人情報保護法に基づいた会員管理とHPの運営・管理、関連団体・機関への会議出席や学会としての意見提出の実施と拡大、役員選挙
- ◆**実践開発委員会**：ホームページ上での学会員における看護上の相談対応、相談活動のPR、不妊症看護認定看護師の認定後の継続教育を支援していくための活動、今後の会員の看護職（認定看護師、地方の看護職）へのサポートのあり方、活性化について幹事会で協議
- ◆**教育推進委員会**：生殖看護実践セミナーの開催、勉強会の支援
- ◆**広報委員会**：ニュースレターの企画・編集及び発行、関連学会などでPR活動（学会リーフレット配布）
- ◆**編集委員会**：日本生殖看護学会第9巻1号の発行に向けての投稿原稿の受付、査読依頼、採否の決定
- ◆**将来検討委員会**：国内外の情報収集と発信、研究助成関連の運営・管理

### 2. 特別委員会

- ◇**看保連対応ワーキンググループ**：看保連の総会・看護技術評価委員会に継続的に出席。平成26年度診療報酬改定に向けた要望書および医療技術評価提案書作成に結びつくような、チーム医療や看護カウンセリングの診療報酬点数化の提案やロビー活動等を検討
- ◇**在宅自己注射マニュアル作成ワーキンググループ**：不妊症看護認定看護師やARTを実施している施設の看護職に対し質問紙調査を実施、意見を集約することによりプロトコル案を作成

### 3. 学会設立10周年記念事業

- ・平成24年に設立10周年を迎えるにあたり、記念事業を行う。第10回学術集会の前日に記念式典を開催予定。学会のロゴ募集、論文の表彰、募金などを予定。

## 平成23年度収支予算案

（平成23年9月1日から平成24年8月31日まで）

### 一般会計

（単位：円）

#### 収入の部

大科目	小科目	予算額	備考
会費収入	年会費	1,800,000	300名×6,000円
繰越金	前年度繰越金	975,176	
収入合計	収入合計（A）	2,775,176	

#### 支出の部

科目	小科目	予算額	備考
会 議 費		<b>[555,000]</b>	
	理事会会議費	520,000	
	総会費	35,000	
事業費		<b>[1,230,000]</b>	
	広報委員会	310,000	ニュースレター400部、学会リーフレット作成
	教育推進委員会	1300,000	
	実践開発委員会	50,000	
	編集委員会	280,000	
	将来検討委員会	110,000	
	十周年記念行事	200,000	
	役員選挙	50,000	
学術集会・講演会補助費	100,000		
事務費		<b>[360,000]</b>	
	人件費	250,000	アルバイト（PC入力・HP管理）
	通信・送金費	40,000	
	消耗品・雑費	70,000	
団体登録料		<b>[110,000]</b>	
	日本看護系学会協議会	80,000	
看保連	30,000		
活動費		<b>[100,000]</b>	
	ワーキンググループ	100,000	
予備費等		420,176	
支出合計（B）		2,775,176	

### 特別会計：研究助成金積立金

（単位：円）

小科目	収入		支出		残額	備考
	積み立て額		助成額			
23年度積立金	100,000		100,000		0	一般会計より
前年度までの積立金	350,255		0		350,255	
収入合計（A）	450,255		100,000		350,255	

## これから行われる学会・研修会等のお知らせ (2012年1月~2012年3月)

月	日	学会・研修会名	会場	学術集会照会先・事務局
2012年 2月	19日	日本生殖医療心理カウンセリング学会 (第9回)	ソラリア西鉄ホテル (福岡市)	<a href="http://www.repro-psycho.org/">http://www.repro-psycho.org/</a>
3月	1-3日	Best Practices of ASRM and ESHRE (joint meeting)	Cortina d'Ampezzo, (イタリア)	<a href="http://www.eshre.eu">http://www.eshre.eu</a>

\*2011年10月8日現在の情報です。詳細は各学会 HP 等でご確認ください。

## 第7回生殖看護実践セミナー報告

9月10日、『育児希望のあるがん患者への支援を考える』のテーマで、第7回生殖看護実践セミナーが開催された。残暑の中、60名（そのうち、非会員28名）の参加があり、活発な意見交換が行われた。今回は、がん看護を専門とする方々の出席も多数あった。

はじめに、神津三佳氏（がん看護専門看護師）より、生殖年齢に罹患率が高いとされているがんとその治療方法や、がん治療中の性生活、手術・放射線・化学療法による妊孕性への影響、生殖補助医療の基本的知識など、最新の知見についてご講演いただいた。また、慢性骨髄性白血病や、精巣がん、乳がん、子宮頸がん、卵巣がんの事例をもとに、具体的援助方法についてもご紹介いただいた。



さらに、グループディスカッションではがん治療のガイドライン等を参考に、以下の2つの事例に対する援助について討議を行った。不妊治療の開始を検討中に乳がんが発見され、乳房温存術後に放射線療法と化学療法等を予定している事例では、①生殖機能障害に関する説明時、②妊孕性温存方法等の説明時、③がん治療前の採卵時の場面ごとに、また、不妊治療開始時に卵巣がんが発見され、片側卵巣・卵管切除をした事例では、①がんの手術後、②がん治療の外来フォロー時、③不妊治療再開時の場面ごとに、心身の状態や、対象者・家族の訴えに応じた具体的な援助方法について話し合った。

全体ディスカッションでは、がん告知や生殖機能障害に関する患者や家族のショックや不安、妊孕性温存方法や不妊治療に関する葛藤を十分に傾聴すること、本人の希望をよく聞きニーズを明らかにすること、がん治療と不妊治療のどちらを優先すべきかを判断するための治療情報やがん治療後の妊孕性に関する情報の具体的な提供方法、がん治療後の性生活への援助、夫婦間の調整への援助、不妊治療施設とがん治療施設との連携、などについて話し合われた。

出席者へのアンケートより

- ・がん看護という専門外の分野についての基礎的な知識がわかるように、ガイドライン等の資料をもとに解説していただき、大変勉強になった。
- ・がん看護専門看護師も多数参加されていたので、生殖看護の視点だけでなく、がん看護からの視点からも意見交換でき、とても有意義だった。他分野の認定看護師や専門看護師とも連携していくことの必要性を感じた。
- ・看護者の価値観を押し付けないことを心にとめて看護していきたいと思った。
- ・具体的な事例をもとにしたグループディスカッションでは、互いの知識や意見を引き出すことができ、支援内容を考え深めることができた。もっとディスカッションの時間があればさらに深い討議ができたと思う。

報告：教育推進委員会

## 各地区で開催される勉強会のご案内

### 関東地区勉強会

【テーマ】「生殖医療における災害時の対応と看護について考える」

～不安・疑問を語り合おう～

【ねらい】3月の震災を受けて、私達が災害を想定した上で、事前準備や確認をしておかなければいけないことは多々あると考えます。災害時の対応方法や疑問点、実際の震災時に不妊治療を受けられているカップルへの看護を行う上で困ったことなど、率直な意見交換を行い、これからの看護に役立つ勉強会にしたいと思います。

【内容・方法】1. 震災時の状況・問題点についての講演（講師2名）  
2. 意見交換、ディスカッションを予定しています

【日時】平成24年1月29日（日） 13時30分から受付開始  
14時から17時まで（予定）

【場所】聖路加看護大学2号館（東京・築地）

【参加費】1,000円（当日徴収致します）

【連絡先】小林由美（こばやしゆみ）

信州大学医学部付属病院生殖医療センター  
E-mail : yumil10@shinshu-u.ac.jp

栗城かつみ（くりきかつみ）

済生会横浜市東部病院 リプロダクションセンター  
〒230-8765 神奈川県横浜市鶴見区下末吉3-6-1  
TEL : 045-576-3000 P H S 6422

E-mail : ktm-skr-hrn1975@jcom.home.ne.jp

☆参加希望の方は氏名、所属と職種、連絡先を明記の上、平成24年1月11日までにE-mailにて済生会横浜市東部病院 栗城までご連絡ください

【備考】非学会員の方の参加も歓迎致します。

### 関西地区勉強会

【日時】平成23年12月17日（土）13：00～16：30

【場所】英ウィメンズクリニック（神戸市中央区）

【テーマ】～親子になる～非血縁の親子関係を通して～

【内容】1. 講演：岩崎美枝子先生（社団法人家庭養護促進協会・大阪事務所）  
2. グループワーク

【ねらい】家族のあり方が多様化する現代において、私たち看護師は、そのご夫婦が新しい家族を迎えることに対して、どのような思いを抱いているのかを理解し、そのご夫婦が納得して自己決定できるように、適切な支援を行う必要がある。そのためには、まず看護師自身が現代における家族のあり方を理解し、子どもを迎えるということはどういうことか、深く考えることが大切である。そこで今回の勉強会では、養子縁組の現状を学び、支援のあり方を考える機会とする。

【参加費】1,500円（資料・茶菓代）

【連絡先】英ウィメンズクリニック 藤田 陽子

電話：078-392-8723 FAX：078-392-8718

E-mail（藤田）：fujita@hanabusaclinic.com

### 第9回九州地区勉強会

今回は男性に対する治療やケアについて、男性不妊を専門に活躍している医師よりお話をうかがいます。男性の体に関する基礎知識から男性不妊外来に特化した新しい治療まで、広く学べる勉強会を予定しております。みなさまお誘い合わせのうえ、ふるって御参加ください。お待ちしております。

【日時】平成24年6月17日（日） 10：00～12：00

【場所】国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 研修講堂

【テーマ】「基礎から学ぼう男性不妊！～実は奥が深い男性のカラダ～」

【内容】9：30 開場 受付開始

10：00～11：45 講義

講師：白石晃司 先生（山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学分野）

11：45～11：55 質疑応答

11：55～12：00 アンケート記入

【参加費】お一人1,000円（資料代含む）当日受付にてお支払いいただきます。

☆領収書が必要な方は申し込み時に知らせてくださると助かります。

【お問い合わせ】蔵本ウイメンズクリニック 川元 美里

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東1-1-19

TEL : 092-482-5558 FAX : 092-482-1415

E-mail : info@kuramoto.or.jp

## 各地区で開催する勉強会の支援

教育推進委員会では、会員が主催する各地区の勉強会を支援したいと考えております。勉強会を企画されている代表者の方は、開催日時、開催場所、テーマ或いは内容、連絡先（住所、電話番号、FAX番号、メールアドレス）等を下記の連絡先までご連絡ください。よろしくお願ひ申し上げます。

【連絡先】 阿部正子 masakoA@nagano-nurs.ac.jp  
長野県立看護大学 母性・助産看護学分野  
〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1694 TEL：0265-81-5159

## 理事会報告

### 第6回理事会（書面）

日時：平成23年7月1日（金）

#### 【審議事項】

1. 入会審査：10名の新規入会を承認。
2. 第10回学術集会長について。

### 第7回理事会

日時：平成23年8月19日（金）13時00分～16時20分

場所：京都橘大学清優館 A406会議室

出席：森明、村本、阿部、遠藤、上澤、岸田、清水、長岡、野澤、橋村、矢野

#### 【報告事項】

1. 実践開発委員会：東日本大震災における被災地域への支援について
2. 教育推進委員会：地区勉強会等の助成について HP に掲載
3. 広報委員会：各関連学会での広報活動を続行中
4. 編集委員会：6月に学会誌第8巻1号を発行
5. 将来検討委員会：平成23年度研究助成申請について
6. 在宅自己注射マニュアル作成ワーキンググループ：情報収集及び不妊医療施設看護師への聞き取り調査から最終的な調査用紙案を作成
7. 第9回日本生殖看護学会学術集会：当日の災害等による中止決定時は、学術集会 HP にて周知予定

#### 【審議事項】

1. 入会審査：6名の新規入会を承認
2. 第10回学術集会について
3. 日本看護系学会協議会第6回高度実践看護師制度あり方検討会緊急集会参加について
4. 学会員不妊症看護認定看護師メーリングリストの代

表アドレス：UMIN サーバーにて作成予定

5. 平成23年度研究助成審査結果承認
6. 今後の学会組織について：実践開発委員会に協議を諮問
7. 平成23年総会要綱（案）について
8. 専任査読委員について
9. 「Fine 祭り」の後援について

### 第8回理事会

日時：平成23年9月10日（土）18時00分～20時15分

場所：聖路加看護大学2号館5階ミーティングルーム

出席：森明、村本、阿部、遠藤、上澤、岸田、清水、長岡、野澤、橋村、森恵、矢野

#### 【報告事項】

1. 実践開発委員会：東日本大震災の被災者支援としての電話相談について
2. 教育推進委員会：第7回生殖看護実践セミナーについて
3. 広報委員会：ニュースレター No.30について
4. 編集委員会：査読者の推薦について
5. 第9回日本生殖看護学会学術集会について
6. 第10回学術集会について
7. JANA「高度実践看護師制度のあり方検討会緊急集会」について

#### 【審議事項】

1. 入会審査 10名の新規入会を承認
2. WHO 看護協力センター第9回学術集会での講演者推薦について
3. 平成23年総会要綱について
4. 平成22年度収支決算及び平成23年度予算案について
5. 平成24年度の年会費値上げについて

## 掲示板

### 2012年度不妊症看護認定看護師教育課程の研修生募集（2次募集）

#### ＜聖路加看護大学看護実践開発研究センター＞

願書受付期間：2012年2月1日（水）～2月10日（金）消印有効

試験日：2012年3月3日（土）

研修期間：2012年6月1日～2013年2月28日

\*毎週金曜・土曜の2日間が授業日です。ただし、8月末～9月末の約5週間は平日連日の集中授業、1月～2月の4週間は平日連日の実習になります。

また、併せて2011年度の聴講生も募集しております。

研修生・聴講生募集の詳細は、

本学研究センターのホームページ（<http://rcdnp.slcn.ac.jp/nintei/>）をご覧ください。

## もし不妊看護の現場で行き詰まったら…

## 日本生殖看護学会が相談にのります

実際に患者さんと関わっていく中で、「目の前にいるこの患者さんにどのように対応したらいいのだろうか?」「患者さんとゆっくり話ができる環境を作るためにはどうしたらいいのか?」など、臨床の現場ではシステムや看護観、倫理観などの中で問題やジレンマを感じるがあると思います。

実践開発委員会では、このような様々な問題に直面した時に直接ご相談をお受けし、よりよい不妊看護の方向性を一緒に考えていきたいと考えています。会員の皆様からのご相談をお待ちしています!

なお、お寄せいただいたご相談の中には、同じような悩みを持つ会員の皆様の参考にしていただけるよう、相談者の同意を頂いた上、相談後1年以上経過した後、相談された方が特定できない形に加工し、『不妊看護に関するQ&A』として、ニュースレターやホームページに順次掲載いたします。どうぞご了承下さい。

## ◆実践開発委員会で扱う“相談・問題”とは…

1. 事例の相談
2. 生殖医療の知識的なことに関する相談
3. 不妊の方と向き合う時の看護職自身のジレンマに関する相談
4. 看護する場の改善(相談室開設など)にともなう相談 など

## ◆相談される場合は…

日本生殖看護学会のホームページ (<http://jsin.umin.jp>) にアクセスし、専用の「ご相談内容記入用紙」に相談内容を出来るだけ詳細にご記入後、送信してください。後ほど、お返事を送らせていただきます。

## 事務局からのお知らせ

1. 日本生殖看護学会へのお問い合わせ、会員に伝えたい情報、ニュースレターに関するご希望・ご意見などがありましたら、FAX: 03-6226-6380 もしくは E-mail: [jsin@slcn.ac.jp](mailto:jsin@slcn.ac.jp) まで、お気軽にご連絡ください。
2. ニュースレターは郵送ではないので転送されません。転居・転職された方は必ず事務局までご連絡願います。
3. お知り合いの方をぜひ日本生殖看護学会へお誘いください。入会希望の方がいらっしゃいましたら、入会案内をお送りしますので、お名前、ご連絡先をお知らせください。
4. 日本生殖看護学会ホームページ (<http://jsin.umin.jp>) を適宜更新しています。ぜひ新しい情報をご活用ください。

## 重要 会費の納入をお願いします

平成23年度会費(平成23年9月1日～平成24年8月31日の諸活動に伴う会費です)の納入をお願いいたします。

口座番号: 00170-2-333413 加入者名: 日本生殖看護学会 年会費: 6,000円

\*ニュースレターに「払込取扱票」を同封してあります。過年度分が未納の方には今年度分との合計額を印字しておりますので、払込取扱票に表示されている金額の納入をお願いいたします。入金確認の時間差もことから、表示された金額が払込事実と合わない場合には事務局までご連絡ください。

## 編集後記

今年の夏はすごい猛暑で、熱中症対策グッズが一躍トレンドになりました。しかし、その記憶も既に遠い昔のように感じます。各地に大雨による大きな被害をもたらした台風の襲来と共に、一気に冷え込み始めました。街の中も急にモノトーンになり、セーターやコートが羽織っている人も見かけます。マスクをした人もチラホラいることから、風邪もはやり始める頃でしょうか。

先日開催された生殖看護実践セミナーや日本生殖看護学会学術集会では、妊孕性維持への支援という新たな生殖看護の拡大と発展を痛感しました。「看護展望」11月号の今月の動き Scope に「生殖医療は第二段階へ そこに求められる看護者の役割」と題してコラムを掲載させていただいておりますので、ぜひご覧ください。

当学会も来年は10周年を迎えます。節目の年に向けて、理事会も式典の開催等色々仕掛けを準備しているところです。どうぞお楽しみにお待ちください。

(広報委員: 野澤美江子、矢野恵子)

## 日本生殖看護学会

Japanese Society of Fertility Nursing : JSFN

〒104-0044 東京都中央区明石町10-1

聖路加看護大学内

TEL & FAX 03-6226-6380

E-mail [jsin@slcn.ac.jp](mailto:jsin@slcn.ac.jp)

ホームページ <http://jsin.umin.jp/>